

船舶事故調査報告書

令和4年5月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|----------------------------------|--|
| 事故種類 | 乗揚 |
| 発生日時 | 令和3年8月13日 14時10分ごろ |
| 発生場所 | 兵庫県東播磨港 東播磨港伊保東防波堤灯台から真方位338° 230m付近 (概位 北緯34° 45.1' 東経134° 46.0') |
| 事故の概要 | 貨物船さんくにきは、着岸中、係留索が破断して風に圧流され、浅所に乗り揚げた。 |
| 事故調査の経過 | 令和3年8月19日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 | 貨物船 さんくにき、499トン 140592、有限会社鍋島回漕店（船舶所有者）、NSユナイテッド内航海運株式会社（運航者）、株式会社菅原ジェネラリスト（船舶借入人） |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、四級（航海） |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | 左舷船底部外板に凹損及び擦過傷 |
| 気象・海象 | 気象：天気 雨、風向 南、風力7～8（最大瞬間風速約20m/s）、 視界 良好 海象：波高 約1.5m、潮汐 高潮時 兵庫県高砂市には、8月12日23時18分に強風注意報（平均風速15m/s以上）及び波浪注意報（有義波高1.5m以上）が発表され、本事故当時も継続中であった。 |
| 事故の経過 | 本船は、船長ほか4人が乗り組み、石炭約1,650トンの揚荷役の目的で、令和3年8月13日12時20分ごろ船首を南南西方に向けた右舷着けの状態、東播磨港伊保地区の岸壁（以下「本件岸壁」という。）に着岸した。 船長は、強風が予想されたので、ヘッドライン及びスタンラインをふだんの1本から2本に増やすこととし、前部係留索3本（ヘッドライン2本及び前部スプリングライン1本）及び後部係留索3本（スタンライン2本及び後部スプリングライン1本）の計6本を本件岸壁のビットに取ったので、係留索が破断することはないと思った。 船長は、12時40分ごろ自身の食料品の買い出しを行う目的で、本船に機関長、一等機関士及び二等航海士を残し、船橋を無人の状態として、一等航海士と共に下船した。 本船は、13時00分ごろ揚荷役を開始したものの、13時30分ごろ風が強まり、船体が動揺して前部スプリングラインが本件岸壁の |

| | |
|---------------------|--|
| | <p>ビットから外れたので、荷役を中断した。</p> <p>機関長、一等機関士及び二等航海士は、前部甲板で予備の係留索を繰り出していたところ、13時50分ごろ風がさらに強まって船体の動揺が大きくなり、ヘッドライン2本が破断して船首が本件岸壁から離れ始めた。</p> <p>二等航海士は、単独で本船を操船した経験がなく、機関長が、昇橋して機関及びスラスターを使用し、船首を本件岸壁に近づけようとしたものの、本船は、風を受けてさらに船首が左に振れた際、後部係留索3本が破断して北方に圧流され、14時10分ごろ船首が東方を向いた状態で、本件岸壁の北方の浅所に乗り揚げた。</p> <p>本船の係留索は、直径約55mmのポリプロピレン製で、令和3年4月に新替えされたもので、摩耗がなく良好な状態であった。</p> |
| <p>分析</p> | <p>本船は、本件岸壁に右舷着けで係留中、風が強まり、風力7～8の南風を受ける状況下、船体の激しい動揺により係留索が破断し、本件岸壁から離れた際、船長が下船し、船橋に本船を操船した経験のある甲板部職員がいなかったことから、南風により北方へ圧流され、浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>本船を操船したことのある乗組員が船長のみであったものの、船長は下船していたことから、船橋に本船を操船できる甲板部職員がいなかったものと考えられる。</p> |
| <p>原因</p> | <p>本事故は、本船が、本件岸壁に右舷着けで係留中、風が強まり、風力7～8の南風を受ける状況下、船体の激しい動揺により係留索が破断し、本件岸壁から離れた際、船長が下船し、船橋に本船を操船した経験のある甲板部職員がいなかったため、南風により北方へ圧流され、浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> |
| <p>再発防止策</p> | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、風が強まることが予想される場合、船舶を離れないこと。 ・ 船長は、ふだんから甲板部職員に対して本船の操船に関する指導を行い、訓練を行っておくことが望ましい。 |